

### 執筆者紹介（掲載順）

末廣 昭	学習院大学国際社会科学部 教授・学部長	西嶋 淳	本学経済学部教授・学部長
前田 啓一	本学経済学部教授・比較地 域研究所所長	明石 芳彦	本学経済学部教授
古沢 昌之	本学総合経営学部教授	原田 禎夫	本学経済学部准教授
		伊多波良雄	同志社大学経済学部教授

### 編集委員（50音順）

（○論文審査委員）

○池田 潔	本学総合経営学部教授	○塩田真典	本学経済学部教授
○岩井紀子	本学総合経営学部教授	○富田和暁	本学経済学部教授
○閻 和平	本学経済学部教授	前田啓一	本学経済学部教授・当研究所所長
○片山隆男	本学経済学部教授・副学長	○松尾俊彦	本学総合経営学部教授
○坂田幹男	本学経済学部教授	西川直亮	本学事務局長

### ◇◇編集後記◇◇

2ヵ月をこえるロングラン中の『シン・ゴジラ』を見てきた。ハリウッド製アメコミ原作の映画だと、昨今はヒーローが一人ではなく集団で敵に立ち向かうが、この映画でも「ゴジラ vs. 日本」とコピーにあるように、「現代日本」が総力を振り絞ってゴジラを「駆除」する。未知の怪獣を「排除」か「駆除」か、自衛隊を出動させるかどうかでスタモンダした政権は、ゴジラによってあっけなく閣僚がほぼ全員死亡。アメリカによる核使用の期限が迫る中、内閣官房副長官をリーダーとする各省庁からの寄せ集め変わり者集団「巨災隊」によって退治される。この筋自体や、「この国は次のリーダーがすぐ決まるのがいいところだ」というセリフなど、皮肉なところもあって面白い。初代ゴジラなら「オキシジェンデストロイヤー」にあたる薬を、重機メーカーのカタログに実際に載っているようなありふれた重機を使って飲ませたり、新幹線はおろか在来線をも使ってゴジラを攻撃するところなど、「総力戦」にふさわしく、涙ぐましく感じた。ゴジラ誕生も含め、謎を残したラストの解釈など、見た人それぞれが語りたくなるような映画だろう。（岡村良子）

2016年10月20日 発行

地域と社会 第19号

編集・発行

大阪商業大学比較地域研究所

〒577-8505

東大阪市御厨栄町四丁目 1 - 10

TEL(06)6785-6139

印刷

株式会社ライジングサン